



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ビジネス・ブレイクスルー

コード番号 2464 URL <http://www.bbt757.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大前 研一

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長

(氏名) 伊藤 泰史

TEL 03-5860-5543

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,106	—	125	—	98	—	55	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 55百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	957.05	—
23年3月期第2四半期	—	—

(注) 1. 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
24年3月期第2四半期	3,417	—	2,744	—	80.3	47,629.39
23年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,744百万円 23年3月期 1百万円

(注) 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値は記載していません。
なお、第1四半期連結会計期間の末日をみなし取得日としております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	900.00	900.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	900.00	900.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,378	—	315	—	308	—	177	—	3,052.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期の対前年同四半期増減率は記載していません。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社BBリゾート、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	63,349 株	23年3月期	63,349 株
----------	----------	--------	----------

- ② 期末自己株式数

24年3月期2Q	5,728 株	23年3月期	5,358 株
----------	---------	--------	---------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	57,905 株	23年3月期2Q	59,165 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、第1四半期連結会計期間に子会社を取得したため、第1四半期連結会計期間から連結財務諸表を作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. (補足情報)四半期財務諸表(個別)	10
(1) 貸借対照表	10
(2) 四半期損益計算書	12
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興に向けた回復がみられるものの、電力供給の制限による企業・経済活動の停滞懸念や欧米における財政問題等を起因とする円高基調など依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか「世界に通用する人材を育成」すべく実践的な教育プログラムと独自の遠隔教育システムの開発、充実に努めてまいりました。

当社は、文部科学省より設置認可された「ビジネス・ブレイクスルー大学(以下、BBT大学)経営学部」に2年目の春期学生が入学し、BBT大学大学院においては過去最多の春期学生入学数となりました。個人向けを主とし毎月開講しているBBT大学オープンカレッジの各講座においても受講者数が堅調に推移いたしました。

また、主要プログラムの一つであるBBT大学オープンカレッジ「株式・資産形成講座」では、20代から30代を対象にしたエントリーコースとして「今日からはじめる!資産形成世代のための資産運用術」、ならびに、新規プログラムとして、自身の生涯にわたる生活設計を考える講座「ライフプランニングコース」をそれぞれ9月に新規リリースするなど教育プログラムの充実に努めました。

一方、当社が独自開発する遠隔教育システム「AirCampus®」をタブレット端末に対応させたアプリケーション「ACMobile」は、アップル社端末に加え、android端末にも対応(平成23年4月)するとともに、随時機能追加を図るなど継続開発に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、過去最高の1,106百万円、営業利益は125百万円、経常利益は98百万円、四半期純利益は55百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間は、連結初年度にあたるため、前年同四半期との比較分析はおこなっておりません。

以下、セグメント区分別の状況においても同様であります。

セグメント区分別の状況につきましては以下のとおりであります。

① マネジメント教育サービス

マネジメント教育サービスの売上高は935百万円となりました。BBT大学経営学部にて2年目の春期学生が入学し、BBT大学大学院においては過去最多の春期学生の入学数となったこと、オープンカレッジ講座の各講座においても受講者数が堅調に推移したことによるものであります。

② 経営コンテンツメディアサービス

経営コンテンツメディアサービスの売上高は154百万円となりました。卒業生、修了生を対象に、受講したコンテンツの視聴延長や当社サービスを特別価格にて提供する有料会員サービスが順調に推移したことによるものであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,417百万円、負債は673百万円、純資産は2,744百万円となりました。なお、当第2四半期連結会計期間は、連結初年度にあたるため、前年同四半期との比較分析はおこなっておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は計画より上回って推移しておりますが、当事業年度も開学2年目となるBBT大学における新規コンテンツ制作費用は継続し、秋期生や来期春期生の募集に向けた積極的な認知活動を図ってまいります。

また、グローバル人材育成ニーズに応えるとともに、BBT大学やオープンカレッジ「実践ビジネス英語講座(PEGL)」での受講生の増加に対応するため、オンラインでの英語教育事業、運営に特化した子会社(非連結)(株)BBTオンラインを平成23年7月に設立し、同社の現地法人(非連結)をフィリピンに平成23年9月に設立いたしました。来期の事業開始に向けて教育カリキュラムの設計及び受講システムの開発、講師の採用活動など準備を進めており、先行投資を見込んでおります。

業績予想につきましては、平成23年8月3日に公表いたしました平成24年3月期通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、株式会社B Bリゾートを新たに取得したため、当第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
 (平成23年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,354,096
売掛金	194,509
仕掛品	159,669
貯蔵品	2,113
前払費用	41,717
繰延税金資産	7,173
その他	7,683
貸倒引当金	△87
流動資産合計	1,766,876
固定資産	
有形固定資産	
建物	384,026
減価償却累計額	△39,274
建物(純額)	344,751
構築物	2,205
減価償却累計額	△746
構築物(純額)	1,458
機械及び装置	10,157
減価償却累計額	△8,515
機械及び装置(純額)	1,642
車両運搬具	4,844
減価償却累計額	△3,407
車両運搬具(純額)	1,436
工具、器具及び備品	275,232
減価償却累計額	△173,961
工具、器具及び備品(純額)	101,271
土地	831,802
建設仮勘定	13,500
有形固定資産合計	1,295,863
無形固定資産	
借地権	87,671
ソフトウェア	142,963
ソフトウェア仮勘定	14,595
その他	58,661
無形固定資産合計	303,890
投資その他の資産	
投資有価証券	11,501
関係会社株式	12,000
差入保証金	21,446
繰延税金資産	4,272
その他	1,787
投資その他の資産合計	51,008
固定資産合計	1,650,762
資産合計	3,417,639

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成23年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	1,800
未払金	13,674
未払費用	107,430
未払法人税等	46,617
未払消費税等	5,991
未払配当金	2,662
前受金	479,449
預り金	7,527
奨学還付引当金	5,591
その他	278
流動負債合計	671,022
固定負債	
その他	2,163
固定負債合計	2,163
負債合計	673,185
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,477,525
資本剰余金	1,125,236
利益剰余金	420,406
自己株式	△278,715
株主資本合計	2,744,453
純資産合計	2,744,453
負債純資産合計	3,417,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,106,888
売上原価	361,219
売上総利益	745,669
販売費及び一般管理費	619,914
営業利益	125,754
営業外収益	
受取利息	3,394
投資有価証券売却益	2,000
未払配当金除斥益	1,982
その他	467
営業外収益合計	7,843
営業外費用	
投資有価証券評価損	1,365
為替差損	29,213
固定資産除却損	1,530
固定資産売却損	2,895
支払手数料	108
営業外費用合計	35,112
経常利益	98,485
税金等調整前四半期純利益	98,485
法人税、住民税及び事業税	43,112
法人税等調整額	△45
法人税等合計	43,066
少数株主損益調整前四半期純利益	55,418
四半期純利益	55,418

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	55,418
四半期包括利益	55,418
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	55,418

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	98,485
減価償却費	51,669
貸倒引当金の増減額(△は減少)	31
受取利息	△3,394
未払配当金除斥益	△1,982
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,000
投資有価証券評価損益(△は益)	1,365
固定資産除却損	1,530
売上債権の増減額(△は増加)	△7,409
たな卸資産の増減額(△は増加)	△37,600
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,096
未払費用の増減額(△は減少)	△24,569
前受金の増減額(△は減少)	30,489
未払又は未収消費税等の増減額	9,422
その他	64,441
小計	177,382
利息の受取額	3,085
法人税等の支払額	△57,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△150,617
無形固定資産の取得による支出	△27,947
投資有価証券の取得による支出	△500
投資有価証券の売却による収入	2,000
関係会社株式の取得による支出	△12,000
定期預金の払戻による収入	605,089
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△114,416
その他	145
投資活動によるキャッシュ・フロー	301,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△17,541
配当金の支払額	△52,668
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,210
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,772
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	326,956
現金及び現金同等物の期首残高	1,027,140
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,354,096

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 到平成22年9月30日)

当第2四半期連結累計期間は連結初年度にあたるため、前連結累計期間の記載は行っていません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 到平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マネジメン ト教育サー ビス	経営コンテ ンツメディ アサービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	935,122	154,891	1,090,013	16,874	1,106,888	—	1,106,888
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,418	6,182	17,600	25,005	42,606	△42,606	—
計	946,540	161,074	1,107,614	41,880	1,149,495	△42,606	1,106,888
セグメント利益	83,955	33,717	117,673	8,080	125,754	—	125,754

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版に係る印税収入及び賃貸収入等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (補足情報) 四半期財務諸表(個別)

当第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前事業年度末及び前第2四半期累計期間の個別財務諸表を参考資料として掲載しております。

(1) 貸借対照表

		(単位：千円)
		前事業年度末に係る 貸借対照表 (平成23年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		1,632,229
売掛金		187,099
仕掛品		123,864
貯蔵品		318
前払費用		75,623
繰延税金資産		7,073
その他		6,632
貸倒引当金		△56
流動資産合計		2,032,786
固定資産		
有形固定資産		
建物		
		355,221
減価償却累計額		△33,971
建物(純額)		321,250
構築物		
		1,085
減価償却累計額		△698
構築物(純額)		386
機械及び装置		
		70,919
減価償却累計額		△65,453
機械及び装置(純額)		5,466
車両運搬具		
		4,844
減価償却累計額		△3,135
車両運搬具(純額)		1,709
工具、器具及び備品		
		241,608
減価償却累計額		△158,803
工具、器具及び備品(純額)		82,805
土地		
		780,036
有形固定資産合計		1,191,654
無形固定資産		
借地権		87,671
商標権		3,372
特許権		1,029
ソフトウェア		146,293
電話加入権		1,335
ソフトウェア仮勘定		10,248
無形固定資産合計		249,950

(単位：千円)

前事業年度に係る
貸借対照表
(平成23年3月31日)

投資その他の資産	
投資有価証券	10,366
差入保証金	21,806
繰延税金資産	4,327
その他	2,085
投資その他の資産合計	38,586
固定資産合計	1,480,191
資産合計	3,512,977
負債の部	
流動負債	
買掛金	4,897
未払金	1,183
設備関係未払金	87,405
未払費用	131,999
未払法人税等	61,289
未払配当金	5,121
前受金	448,960
預り金	6,817
奨学還付引当金	3,930
その他	60
流動負債合計	751,665
固定負債	
その他	2,652
固定負債合計	2,652
負債合計	754,318
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,477,525
資本剰余金	
資本準備金	1,043,923
その他資本剰余金	81,312
資本剰余金合計	1,125,236
利益剰余金	
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	417,180
利益剰余金合計	417,180
自己株式	△261,282
株主資本合計	2,758,659
純資産合計	2,758,659
負債純資産合計	3,512,977

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	946,954
売上原価	317,384
売上総利益	629,570
販売費及び一般管理費	543,090
営業利益	86,479
営業外収益	
受取利息	2,960
その他	631
営業外収益合計	3,592
営業外費用	
株式交付費	42
固定資産除却損	196
為替差損	1,201
支払手数料	255
営業外費用合計	1,695
経常利益	88,375
特別損失	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,000
特別損失合計	3,000
税引前四半期純利益	85,375
法人税、住民税及び事業税	35,283
法人税等調整額	1,175
法人税等合計	36,458
四半期純利益	48,916

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第2四半期累計期間
(自 平成22年4月1日
至 平成22年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前四半期純利益	85,375
減価償却費	38,151
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△250
受取利息	△2,960
固定資産除却損	196
売上債権の増減額(△は増加)	64,919
たな卸資産の増減額(△は増加)	△35,764
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,896
未払費用の増減額(△は減少)	△29,379
前受金の増減額(△は減少)	△32,802
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,373
その他	19,968
小計	103,185
利息の受取額	2,897
法人税等の支払額	△71,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,042

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△970,855
無形固定資産の取得による支出	△38,204
投資有価証券の取得による支出	△2,000
その他	△692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,011,752

財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の処分による収入	10,500
自己株式の取得による支出	△48,208
配当金の支払額	△57,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95,446
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,337
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,074,494
現金及び現金同等物の期首残高	2,616,817
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,542,323